

第31号
令和8年3月発行
2026.Mar.



剣脈



▲福岡武道館

公益社団法人

福岡県剣道連盟

〒812-0045 福岡市博多区東公園 8 番 3 号 福岡武道館内
TEL:092-712-1890 / FAX:092-712-1891



福岡武道館
開館記念式典

令和七年十二月二十日(土)に福岡市博多区に移転した福岡武道館にて開館記念式典が開催されました。

式次第

- ① 開式の辞
- ② 式辞
- ③ 挨拶
- ④ 祝辞
- ⑤ 祝電披露
- ⑥ テープカット
- ⑦ 演武披露
柔道(福岡県警察)
剣道(福岡県警察)
- ⑧ 閉式の辞



福岡武道館開館記念式典

目次	
福岡武道館 開館記念式典	一
脈動	二
連合地区剣道連盟通信	四
居合道通信	五
杖道通信	六
各域からのご報告	八
医科学安全委員会だより	十四
隻腕少年記事	十四
活躍への道	十五
訃報	十八
昇格・昇段	二十
編集後記	二十一



公益社団法人 福岡県剣道連盟
専務理事 畷末 秀一

令和八年度にむけて

令和七年度を振り返るとまだ事業年度途中ですが事業は計画通りに実施され、コロナ禍以前に戻り安心していただいております。また、全国規模の各種大会において本県選手の活躍は目を見張るものがあり、素晴らしい戦績を残すことができたと考えています。来年度も期待するところであります。

さて令和八年度の重点項目を次のように掲げました。これは各専門委員会委員長と諮問機関の

医学委員会委員長の意見を参考に策定しました。

① 財政基盤の独立と適正な事業運営

- ・ 安定的な財政基盤確立に向けた収支構造の最適化
- ・ 公益目的事業等における効率的運営の実施
- ・ 倫理規定の遵守ならびに安全な事業運営

② 健康・安全対策の実施

- ・ 生涯剣道を目指すための医学的知識・技術の提供
- ・ 大会・審査会・稽古会を安全に行うための援助
- ・ 感染症の流行状況に応じた対処方法の検討

③ 大会、昇段審査会、講習会、研修会等適切な事業運営

- ・ 各種大会、昇段審査会、講習会等の状況に応じた運営
- ・ 事業内容を把握し、事前準備と運営を効率的に進める
- ・ 事業実施後の振り返りを通し、以後の事業運営改善に反映

④ 指導者層拡大と指導内容の充実

- ・ 剣道の正しい継承と普及発展のため、講習会内容の充実
- ・ 試合審判法の徹底と審判員の技術向上
- ・ 指導者の日本剣道形の指導能力の向上

⑤ 少年剣道の育成

- ・ 少年剣道指導者に対し、暴力禁止・ハラスメント防止の徹底
- ・ 少年剣道指導者層、学校指導者との連携を図り部活動改革と剣道人口減少への対応

⑥ 女性指導者の人材育成

- ・ 全国講習会への派遣
- ・ 女性講師の育成と起用
- ・ 県女子講習会、などで大会の充実

⑦ 全国トップを目指す「チーム福岡」づくり

- ・ 各種大会でベスト四以内達成のため、選手・指導陣の連携した強化訓練の実施
- ・ 選手がベストコンディションで大会に臨む環境づくり
- ・ 「小・中・高一貫指導剣道強化合宿」の継続と充実

⑧ 広報活動の推進

- ・ 『剣脈』の内容充実
- ・ 剣道人口減少防止の取り組み等について情報発信
- ・ 幅広い会員からの情報収集
- ・ 賛助会員加入のPR活動

本年度は令和七年度の重点項目に挙げていた女子委員会が新設され、女性指導者の育成と指導力向上を図る目的で福岡県剣道女子講習会、などで剣道大会の自主的な運営を行いました。好評な大会で今後も女性の活躍を期待しているところです。また、役員の選任規則を策定し、任期や定年について明確にし、ガバナンス強化を図ることができました。

令和八年度の重点項目は七年度と大きく変わった点はありません。本年度会費を値上げさせて頂きましたが、いつも課題として取り上げている財政に関する事は諸物価の値上がりや新武道館が建設され事務局も移転に伴い、賃借料が前の武道館の三倍以上になり、余裕ができたわけではありません。ただ、会長のご尽力で大手の企業様からの賛助会員加入が




実現しました。この点は大変ありがたく感謝申し上げます。今後も賛助会員の募集は必要とします。皆様のご協力をお願いいたします。

公益社団法人として公益事業費の支出については赤字が出ますが、法人会計と合わせて赤字にならないよう努める必要があります。従いまして、事業内容の見直しなど合理的に改善をしなければならぬことなど、本年度も課題はたくさんあります。会員の皆様のご理解をいただきながら事業を進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

賛助会員募集

公益社団法人福岡県剣道連盟では、当連盟活動の趣旨に賛同し、事業を支援していただける団体(法人)様を募集しています。

当連盟活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員になられますと、

1. 当連盟の刊行物にお名前(企業・団体名)を掲載いたします。 ※全ての刊行物ではございません。
 2. 当連盟のホームページに「バナー」を設置し、リンクいたします。
- 賛助会員としてご支援いただける場合、福岡県剣道連盟ホームページ内「賛助会員のご案内」より入会申込書をダウンロード後必要事項をご記入の上、事務局宛にご送付ください。
- 追って、事務局よりお振込先の口座をご案内いたします。
- 【申込書送付先】**
〒812-0045 福岡市博多区東公園8番3号 福岡武道館内
公益社団法人 福岡県剣道連盟 事務局
- スマートフォン版は、こちらから読み取って下さい 

現在、株式会社サエキジャパン 株式会社エイケン 株式会社インターフォース 株式会社シーアンドイー 株式会社コアズ九州事業本部 株式会社西日本新聞社 株式会社クラフティア(旧㈱九電工) 株式会社福岡銀行 株式会社西日本シティ銀行 西部ガスホールディングス株式会社 西日本鉄道株式会社 九州電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 有限会社オートリサイクルナカシマ福岡 ALPHA AUTO 高嶋安全ガラス(株)にご支援頂いております。(敬称略)



連合地区
剣道連盟通信

◆北九州連合地区 八幡剣道連盟



八幡剣道連盟
教士七段
森 寄 誠 一 郎
(日本製鉄)

ドイツ剣道との交流

二〇二一年から二〇二二年にかけて、業務の都合によりドイツへ駐在する機会を得ました。ドイツは剣道人口が約三千人と比較的剣道が盛んな国であり、駐在地近郊のデュッセルドルフを中心に稽古へ参加する機会に恵まれました。例年であれば、全日本剣道連盟を通じて著名な先生方がドイツに招聘され、ドイツ剣道全体やナショナルチームのご指導にあたられています。しかし、当時は新型コロナウイルス感染症の影響により、日本から先生方を招聘することができず、ドイツナショナルチームは現地の指導者のみで選手強化に取り組んでいます。そのような状況の中、ドイツ人

剣道仲間の方々からお誘いを受け、強化合宿稽古にゲストとして参加した際、ナショナルチームの選手強化のサポートをお願いできないかとご相談をいただきました。これらきつかけとなり、現在も続くドイツ剣道連盟とのご縁が生まれ、私は一民間企業の剣道愛好家でありながら、駐在中はもちろん、二〇二二年に帰国した後も遠隔で選手強化のお手伝いをしております。

現在は、年末の寒稽古合宿、四月の春合宿、そして欧州選手権大会（または三年に一度の世界大会）の三年三回、ドイツを訪問し、ナショナルチームのコーチとしてドイツ剣道連盟のお手伝いを続けております。そのご縁もあり、毎年四〜五名程度のドイツ剣士が北九州を訪れ、稽古を行うことが恒例となっております。彼らの多くは最長で約一か月の長期休暇を取得し、日本全国を巡りながら、警視庁や神奈川県警、大阪府警などの先生方にも稽古をお願いしていると聞いています。彼らの剣道に対する情熱には心から敬意を表します。また、毎回ドイツ剣士が北九州を訪れるたびに、温かく迎え入れ、稽古やご指導を賜る先生方には、この場を借りて改めて深く

御礼申し上げます。

最後に、ドイツ剣道へのお手伝いを通じて、欧州を中心に世界各国の多くの方々のご縁をいただくことができました。また、九州にいるだけではなかなか出会えない著名な先生方とも親しくなる機会を得ました。ドイツとの剣道交流を通じて繋がった人脈の広がりを深く実感すると共に、その機会を頂いたことに深く感謝いたします。今後とも、ドイツ剣道の発展および北九州との交流に、微力ながら貢献できるよう努めてまいります。



◆筑後連合地区 剣道連盟



筑後連合地区
剣道連盟 理事長
野田 千三

人生百年…生涯剣道を楽しんだ
第二十五回ねりんスポーツ
剣道交流大会

十一月二日(日)久留米アリーナにて第二十五回ねりんスポーツ・剣道交流大会が開催されました。筑後連合理事会を開催、①運営主体を久留米市剣道連盟②連合理事会と県社会福祉協議会などの関係諸団体との連絡調整委員として連合事務局の吉谷事務局員を充てるなどの確認をして準備を進めてまいりました。

団体戦には、二十七地域剣道連盟から三十九チーム、個人戦六十歳〜六十四歳の部に六十九名、六十五歳〜七十歳の部に七十六名、七十一歳〜七十九歳の部に七十六名、八十歳以上の部に十五名の登録がありました。

開会式にて、廣松守正(八十二歳大川市)大藤早苗(六十二歳早



良区)の兩名が、最高齢者表彰を受賞されました。公開演武として、打太刀 木築正典教士・仕太刀 伊藤基洋教士が、若々しい気力充実した日本剣道形を披露しました。「先先の先・後の先、緩急の使い分けなど」が今後の課題と感じました。

団体戦では、筑紫剣連Cが優勝しましたが、十月開催の全国健康福祉祭剣道交流大会に出場しており、二年連続出場不可との規定に反することが終了後判明しました。県の大会要項に記載がないことの問題点が判明、次年度の大会要項に詳細を記載することの確認を県社会福祉協議会担当者に申し入れを行いました。

個人戦では、どの部門も、年代に応じた技の応酬がなされました。八十歳以上の部では、最高齢者賞を受賞された廣松氏が、年齢を感じさせない果敢な攻めに準決勝まで進み、優勝した広瀬氏(田川剣連)の正統派の熟練した技前に屈し三位入賞された試合には、これから生涯剣道を目指す剣士の皆さんの模範となるものと見学者から称賛の拍手が送られました。「死の間際まで技芸の

向上してこそ修行であって、老境に達して未だ初心と心得、昔の未熟を忘れず今に満足せず道に励め、一期初心、初心忘れるべからず」の世阿弥の教えを再確認した大会でした。

大会結果

〈団体戦の部〉

- 優勝..筑紫剣連C
- 準優勝..糟屋剣連B
- 第三位..嘉飯剣連A
- 糸島剣連A

〈個人戦の部 六十歳〜六十四歳〉

- 優勝..中知 二男 (小・三)
- 準優勝..黒木 春義 (八幡)
- 第三位..松藤 俊彦 (柳川)
- 親川 光紀 (城南)

〈個人戦の部 六十五歳〜七十歳〉

- 優勝..中島 健次 (嘉飯)
- 準優勝..古藤 嘉友 (嘉飯)
- 第三位..森方 辰之 (嘉飯)
- 田尻 秀博 (宗像)

〈個人戦の部 七十二歳〜七十九歳〉

- 優勝..横溝 憲治 (遠中)
- 準優勝..那須 孝明 (筑紫)
- 第三位..東 廣己 (筑紫)
- 小川 金吾 (久留米)

〈個人戦の部 八十歳以上〉

- 優勝..広瀬 功 (田川)
- 準優勝..三木 章敬 (糟屋)
- 第三位..廣松 守正 (大川)
- 岡 義国 (久留米)



居合道通信



居合道部 副会長 範士 小田 信秋

ベルギーセミナー報告

去る十二月十七日から二十三日の行程で、ベルギーのブリュッセルにてのウインターセミナーに招待されました。ベルギー剣道連盟主催で三道【剣道・居合道・杖道】の合同セミナーを実施することとした。剣道講師は山梨の清野範士、大阪の藤原教士八段、そして居合道は私、小田が担当することになっています。その推薦、取りまとめをさせていただいたのは、ベルギー剣道連盟所属で、先の世界剣道選手権女子決勝の主審を勤められた矢野千恵子先生(剣道七段教士・居合道六段)とのことでした。

朝、七時始発便にて福岡空港から羽田空港に移動、そこからフランク

フルト空港乗り換えでブリュッセル空港に到着です。博多のホテルをチェックアウトしてほぼ二十四時間経過していました。(乗り継ぎの時間待ちも含めてではありませんが)

ブリュッセルの空港では、ベルギー剣道連盟のニコラ会長他の出迎えを受け、会場となるスポーツセンター/アデップスに着きました。この施設は、スカッシュ等が出る小部屋からバスケットボールやバレーボールコートが二面取れるメインアリーナまで五つの会場を有し、その他、宿泊施設、レストラン完備のものです。

早速、セミナーの打ち合わせを行い、夕方からのナイトセミナーに臨みました。剣道、居合道、杖道を重複している参加者もいるので、それぞれの時間をずらしての変則的な会場設営で、割り当ては十七時半〜二十時です。全日本剣道連盟居合の解説をしながら、着装、礼法の大切さ、正しい抜きつけ、正しい切りつけ、正しい血ふり、正しい納刀を重点に指導しました。

あくる日は、九時から十二時まで七段の稽古、十四時から十六時半までは無段から七段までオールレベルでの稽古と、ベルギー剣道

連盟が設定したカリキュラムに沿って、七十名程の参加者と木刀を使いながら、また少し遊び心を入れながら和気あいあいと楽しく稽古することが出来ました。

ベルギー国内からの参加者が主でしたので三日間で延べ百四十名でしたが、それぞれの段以上の実力者が沢山居て、しかも全員が熱心。質問タイムを設けようならば全員が手を挙げる雰囲気でした。

毎回、国外での講師をするたびに思うことですが「本家、日本の居合道は危うい」です。これは、剣道範士の清野先生も仰っていました。特に剣道では韓国の剣道家が台頭していて、日本の剣道が本場に危うい・・・と。



ベルギーでは「小便小僧」が有名です。諸説あるようですが、独立革命時に仕掛けられた爆弾の火の付いた導火線に勇敢にもおしっこをかけて火を消した少年を讃えてとのこと。



我々は、全日本剣道連盟居合道解説書に沿って、個人の見解や勝手な解釈などの外乱での導火線に火を付けさせないように監視し、日本の伝統武道を守りつつ、しっかりと国内外に文化継承していく責任を担っていることをあらためて感じています。

杖道通信



杖道部
鬼木 正道

神道夢想流杖術二十四代の統
白石範次郎重明先生

全日本剣道連盟杖道、この元となったのが福岡藩傳の神道夢想流杖術です。当流は流祖夢想權之助勝吉が寛永年間に宮本武蔵と立合って後に創出され、福岡藩のみに伝承された武術です。明治期に多くの武術流派が失傳し杖術も途絶えそうになりましたが、白石先生により近代への命脈が保たれました。白石先生が居なければ今日の杖道は無かったと言っても過言では有りません。

白石先生は天保十三年(一八四二)十一月三日福岡に生まれ、名は範次郎、実名は重明。代々筑前福岡松平家(本姓黒田)に仕え捕り方役人を務める。慶應元年二月、五卿の太宰府入りにより、しばしば太宰

府で市中警固に従事する。乙丑の獄に伴い同年十一月河合茂山流刑につき、小呂島まで護送の任に就く。以上については大正十二年(一九二三)二月七日に濱の町黒田別邸で行なわれた旧福岡藩事蹟談話會に於ける白石先生御自身の談話で詳しく語られている。



白石 範次郎先生

平野吉藏能榮(勤皇志士平野次郎國臣の父)入門、神道夢想流杖術他を学び、平野吉藏死後は吉村半次郎他各師範家に学び平野三郎能得(國臣弟)より免許皆傳を受ける。神道流剣術、中和流短剣術を平野能榮より免許を受ける。又、一心流鎖鎌術を森方丙作より免許を受けた。明治期以降は炭鉱の帳場や筆の軸製作等で生活を営む一方、博多赤間町の自宅に道場を開き後進の指導に当たる。門下より後に杖道普及に尽力することになる高山喜六、清水隆次、乙藤市藏、乙藤春雄等を輩出しました。京都武徳

殿で開催された武徳会に平野三郎に從い数回参加する。大正十二年、大日本武徳会総裁大勲位 邦彦王殿下より大日本武徳会杖術教士の称号を賜る。昭和二年(一九二七)三月一日逝去、行年八十六。法号「重源齋洞明清範居士」、墓所は博多聖福寺塔頭節信院。

節心院に門人一同による「大日本武徳会杖術教士 白石範次郎先生之碑」が残され、碑の台座に碑文の選者と門人二十五人の名が記されている。以下に碑文を記す。

先生諱ハ重明通称範次郎世々旧黒田藩二仕へ赤間町ニ住ス資性剛直好武平野吉郎右エ門氏ニ師事シ武藝ヲ勵ム師其精通ヲ嘉シ神道夢想流杖術剣道鎖鎌短剣早繩ノ奥儀ヲ允可皆傳シ高祖夢想権之助勝吉ヨリ廿四代ノ統ヲ継ガレタリ既ニシテ世ハ明治維新トナリ人心稍ク文化ニ流レ武道ヲ激勵セラレシカハ門下堪能ノ士輩出流名ノ存續セシハ一々先生ノ賜ナリ晩年畏クモ武徳會 総裁大勲位邦彦王殿下ヨリ杖術教士ノ称号ヲ賜ハル先生ノ榮ヤ大ナリト云フヘシ茲歲三月一日八十六ノ高齡ヲ以テ溘焉永眠セラル實ニ痛惜ニ堪ヘス爰ニ門生相謀リ碑ヲ墓前ニ樹テ先生ノ功績ヲ

不朽ニ表彰ス

中野俊郎撰

宮田太郎書

昭和二年四月建之

門人一同

昭和八年十一月二十日に白石範次郎先生七回忌、国民武道振興会主催国民武道大会が開催されたが、前日の十一月十九日の福岡日日新聞にその予告記事が見られる。

術技を受継ぐと共にその歴史を知る事は大事です。本年、令和八年は白石先生の百回忌に当たります。



打太刀 高山喜六先生 仕杖 白石 範次郎先生

公益社団法人 福岡県剣道連盟 ホームページでも最新情報を公開中!

福岡県剣道連盟公式ホームページでは大会・審査会の最新情報や、各地域の動向を更新しております!スマートフォンにも対応しているので、是非ご利用ください!!

スマートフォン版は、こちらから読み取って下さい





各域からのご報告



福岡県中学校体育連盟
剣道専門部長
大森 靖雄

令和七年度第四十三回
福岡県中学校新人剣道大会
を終えて

中学一・二年生による福岡県
中学校新人剣道大会は、県内六
地区の予選を勝ち抜いた男女各
二十四校によって、十二月十四
日に福岡市民体育館で行われま
した。

新人大会にふさわしく、さわ
やかではつらつとした試合や思
い切りのいい技の応酬が見られ
る熱気あふれる試合が展開され
ました。

上位校は、一月に山口県でお
こなわれる山口全中プレ大会、
二月に熊本県でおこなわれる白
龍旗争奪中学生選抜剣道大会、
三月に佐賀県で行われる神崎市
長旗全国選抜中学校剣道大会に

出場します。参加校の各大会で
の活躍を期待しています。
最後になりましたが、中体連
の先生方ならびに関係各位の熱
意と絶大なるご尽力に感謝申し
上げます。

大会結果

◇男子団体の部◇

- 優勝…私立八女学院中学校
- 準優勝…福岡市立老司中学校
- 第三位…私立飯塚日新館中学校
小郡市立三国中学校



男子団体の部
優勝 私立八女学院中学校



男子団体の部
第三位 小郡市立三国中学校



男子団体の部
第三位 私立飯塚日新館中学校



男子団体戦
準優勝 福岡市立老司中学校

◇女子団体の部◇

- 優勝…福岡市立老司中学校
- 準優勝…糸島市立前原東中学校
- 第三位…古賀市立古賀中学校
大宰府市立大宰府中学校



女子団体の部
優勝 福岡市立老司中学校



女子団体の部
第三位 太宰府市立太宰府中学校



女子団体の部
第三位 古賀市立古賀中学校



女子団体の部
準優勝 糸島市立前原東中学校

高体連剣道専門部は、ここ数年の目標として①審判技量の向上、②競技力の向上、③コンプライアンス遵守、④競技人口問題、これらに取り組んでまいりました。

本年度、審判技量の向上については、全ブロックで講習会を実施することができました。顧問全員が参加できるよう顧問会議と合わせての実施や、大会形式の実施で教員の審判技量の向上だけでなく生徒の技能向上も含める等、各ブロックの専門委員長が、教員の現状、実施方法等、柔軟な発想と工夫を加えながら、その実情に合わせて実施してくれました。今後もそれぞれで工夫を加えながら継続実施することで、さらに質の向上に努めてまいりたいと思います。

競技力については、玉竜旗での

活動報告



福岡県高体連
剣道専門委員長

畑江 秀彦

福大大濠高校の二年連続優勝、全国高校総体での中村学園女子高校の団体優勝、国民スポーツ大会での少年男子の優勝など、各種大会で好成績を収めることができました。常に全国の上位に位置しており、各学校における取り組みが充実していると考えられます。

今後の高体連の課題は、コンプライアンスの遵守と全国的な課題でもある競技人口減少問題があげられます。コンプライアンスの遵守については、意識の徹底を顧問会議で必ず指導しているところです。人口問題については、剣道から離れていく生徒には様々な理由があり、問題が指導者側だけにいきがちですが、その背景には保護者側の問題もあるなど複雑であると感じます。指導者、子ども、保護者と連携をどのように図っていくかはじめ、指導者が剣道の魅力を子ども、保護者にうまく伝えつなげていくことがとても重要であると感じます。一朝一夕にいくものではない課題であるため、部活動の地域展開をはじめ、スポーツ界全体の動きを見ながら、各団体が連携を取り、長期的

な視野に立つて組んでいくことが重要であると思います。

最後に私ごとになりますが、本年度で高体連剣道専門委員長の任期を終えさせていただきます。初年度は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、各大会が中止を余儀なくされていく中、生徒、保護者、指導者の強い要望が後押しとなり、「三年生のための福岡県高等学校剣道大会」を企画し、各方面へ出向いて想いをお話しさせていただきました。困難な状況の中、会長はじめ常任理事の方々、関係各所のご理解ご協力を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

任期中、会長はじめ剣道連盟の方々の高体連事業へのご理解ご協力を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



大会成績

令和7年度福岡県高等学校剣道新人大会

男子団体	優勝	福岡第一	準優勝	東福岡
	第3位	筑紫台 福大大濠		
女子団体	優勝	中村学園女子	準優勝	福岡第一
	第3位	福翔 筑紫台		
男子個人	優勝	野中 龍臥(福岡第一)	準優勝	北条 蒼空(福大大濠)
	第3位	國吉 世暁(久留米商) 宮崎 颯太(福岡舞鶴)		
女子個人	優勝	木原愛由花(中村学園女子)	準優勝	牛嶋 柚希(中村学園女子)
	第3位	横尾 なみ(福岡第一) 椿原 葵(福岡常葉)		

令和7年度全国高等学校剣道選抜大会福岡県予選会

男子	優勝	東福岡	準優勝	福大大濠	第3位	福岡第一	第4位	筑紫台
女子	優勝	福岡第一	準優勝	八女学院	第3位	筑紫台	第4位	福翔

前回剣脈30号にて、令和7年度全九州高等学校剣道大会記事について、個人戦 第3位 國吉世暁(久留米商業高校)君の記載漏れがありました。ここに訂正してお詫びいたします。

福岡県警の活動報告について



福岡県警察
剣道首席師範
蓮尾 孝幸

令和七年度後期の福岡県警察の試合結果をご報告させていただきます。

九月二日、各都道府県警察から選抜された精鋭選手が出場する全国警察剣道選手権大会には、福岡県から水田千尋、田城徳光、池田虎ノ介、池田龍ノ介(男子の部)、糸山亜美、柿元冴月(女子の部)の六名が出場しました。強豪達が一本勝負の激戦を繰り広げる中、水田選手が素晴らしい集中力を発揮して準決勝に進出し、見事に警察個人の部で第三位入賞を果たしました。

九月三十日、十月一日に滋賀県で開催された国民スポーツ大会(成年男子)には、県警五名(池田虎、國友、松崎、森、蓮尾)で出場させていただきました。福岡県はチームワーク良く戦い、

順調にベスト四まで勝ち上がり第四位に入賞しました。

十月二十一日、日本武道館で開催された全国警察剣道大会では、男子は団体戦日本一を目指して最高峰の十二チームが鏖を削る第一部に出場(選手は國友、木村、望月、百田、水田、中山、池田虎、田城、池田龍の九名登録)。予選リーグにおいて大阪府警に四対二で敗れ、続く埼玉県警戦では三対二と惜敗し、残念ながら来年度は第二部降格となりました。全国から過去最多の三十八チームが参加した女子団体戦(糸山、妹尾、柿元の三名登録)では、本県は三連覇を目指して初戦から集中して戦い準決勝に進出しました。準決勝は大坂府警と対戦し一対一の本数差で惜敗しましたが、三位決定戦で千葉県警を二対〇で破り第三位に入賞しました。

十一月三日、男女同日開催された全日本剣道選手権大会は、男子の部に國友錬太郎、田城徳光、池田龍ノ介の三名が出場。國友選手が圧倒的な強さを発揮して令和元年の優勝以来六年ぶりの決勝進出を果たし、三回目



の準優勝という立派な成績を残しました。女子の部には妹尾舞香、柿元冴月の二名が出場。両選手ともに落ち着いた試合を展開して準決勝に勝ち上がり、福岡県ダブル第三位入賞という素晴らしい結果を残しました。今回の大会で県警三名が上位入賞を果たしたことにより、福岡県のレベルの高さを全国に示すことができたと思います。頑張ってくれた選手に対し心から敬意を表したいと思います。

最後になりますが、今後も選手と指導者が一丸となり日本一を目指して努力していく所存です。皆様方の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



第四十八回福岡県教職員剣道大会報告



福岡県学校剣道連盟 事務局 富澤 拓馬

令和七年十二月二十日、福岡武道館の移転期間と重なり、今回は福岡県立宇美商業高等学校に於いて、第四十八回福岡県教職員剣道大会(兼全国教職員剣道大会福岡県選手候補選考会)が開催されました。今年も様々な地区から多くの先生方が大会に参加されました。参加者は六十三名の先生方が選手として出場され、昨年同様に個人戦のみで、出場部門も年齢別で行いました。

今回も、二十代を中心に、この大会に初出場された先生方が多数でした。若手の部門の試合がより質の高い試合展開ばかりで、どの部門も日頃の鍛錬の成果を發揮し、緊迫感ある白熱した試合が展開されました。特に三十四歳以下の部門は、度重なる延長戦を多くの試合で見られました。苦しい中でも、最後は捨て身の覚悟で一

打する姿は、どの試合も感銘を受けました。成績は次のとおりです。

大会結果

〈三十四歳以下の部〉

- 優 勝：森田 大陽 (筑紫台高校)
- 準優勝：平井 智也 (西福岡中学校)
- 第三位：佐藤 祐太 (太宰府高校)
- 橋 亮一 (宇美商業高校)

〈三十五歳以上四十四歳以下の部〉

- 優 勝：神田 智浩 (福岡大学)
- 準優勝：大野 健一 (八幡南高校)
- 第三位：富澤 拓馬 (那珂中学校)
- 窪田 健吾 (柏原中学校)

〈四十五歳以上五十四歳以下の部〉

- 優 勝：儀武 純一 (東福岡高校)
 - 準優勝：竹田 光樹 (八女学院中学高校)
 - 第三位：大淵 量 (久留米商業高校)
- ※三位は一名のみ

〈五十五歳以上の部〉

- 優 勝：佐藤 倫明 (久留米商業高校)
- 準優勝：井上 聡 (朝倉光陽高校)
- 第三位：山下 好三 (菊陵中学校)
- 柴野 賢一郎 (朝倉高校)

〈女子の部〉

- 優 勝：西 伊万里 (福岡高校)
- 準優勝：赤星 マミ (直方第二中学校)
- 第三位：須田 あすか (東花畑小学校)
- 豊村 雪華 (和白丘中学校)

令和八年八月に佐賀県で全国教職員大会が開催されます。昨年度は、初戦で愛媛県と接戦の上、惜敗という結果でした。この悔しさを晴らすためにも、今後は上位入賞者を対象に稽古会を実施予定です。これから全国大会にむけた強化をしていこうと考えていますので、今後とも県剣道連盟をはじめ、関係団体の皆様にご指導・ご鞭撻・ご支援をお願いいたします。



教職員大会入賞者



九州学生剣道連盟は、九州地区の各大学剣道部を以って組織されています。また、全日本学生剣道連盟に加盟し、学生間における剣道の奨励発展と加盟校相互の連絡及び親睦融和を図り、日本剣道の発展に寄与することを目的としています。今年度の主催大会の主な結果は下記の通りです。

各大会において快く審判をお引き受けいただいた先生、先輩方にはこの場をお借りして深く御礼申し上げます。ありがとうございます。今年度、九州学生剣道連盟では、主催大会に合わせて各加盟大学の部長・監督を対象としたコンプライアンス研修や各大学の活動状況等の情報共有等を行いました。今後も加盟大学との連携を図りながら九州学生剣道連盟の活動を充実させていきたいと思っております。

九州学生剣道連盟の
活動・大会結果報告



福岡教育大学
本多壮太郎

令和7年5月10日(土)開催

■九州学生剣道選手権大会(於 粕屋町総合体育館)

【男子第71回】

優勝 妹尾 風輝(鹿屋体育大学) 準優勝 小柳 総司(鹿屋体育大学)
第三位 船迫 仁也(鹿屋体育大学) 第三位 濱野 純平(鹿児島大学)

【女子第57回】

優勝 樋口 恵淑(鹿屋体育大学) 準優勝 谷口 妃奈里(鹿屋体育大学)
第三位 福田 聖奈(鹿屋体育大学) 第三位 小中原 栄華(別府大学)

令和7年5月24日(土)・25日(日)開催

■西日本学生剣道大会(於 久留米アリーナ)

【男子第70回】

優勝 鹿屋体育大学 準優勝 近畿大学
第三位 朝日大学 第三位 中京大学

【女子第40回】

優勝 鹿屋体育大学 準優勝 同志社大学
第三位 中京大学 第三位 高知大学

令和7年9月6日(土)開催

■九州学生剣道優勝大会(於 粕屋町総合体育館)

【男子第72回】

優勝 鹿屋体育大学 準優勝 別府大学
第三位 鹿児島大学 第三位 九州国際大学

【女子第48回】

優勝 鹿屋体育大学 準優勝 福岡大学
第三位 志学館大学 第三位 別府大学

全日本学生剣道連盟主催大会での九州学生剣道連盟加盟大学の戦績は下記の通りです。

令和7年7月5日(土)・6日(日)開催

■第73回全日本学生剣道選手権大会(於 日本武道館)

第三位 船迫 仁也(鹿屋体育大学)

令和7年11月8日(土)・9日(日)開催

■第44回全日本女子学生剣道優勝大会(於 春日井市総合体育館)

準優勝 鹿屋体育大学

令和7年11月16日(日)開催

■第73回全日本学生剣道優勝大会(於 Asueアリーナ大阪)

第三位 鹿屋体育大学

大会結果



九州実業団剣道連盟
理事長
小川 裕史

九州実業団の
活動状況について

九州実業団剣道連盟は、九州、沖縄に所在する企業を会員として組織され、毎年十月に、福岡市で「九州実業団剣道大会」を主催しています。

令和七年十月五日、福岡市総合体育館において開催した「第五十九回九州実業団剣道大会」では、九州、沖縄各県から団体戦に三十九社六十一チーム、女子個人戦には十四社三十一名、総勢約三百七十名に出場いただきました。

団体戦は、九州電力Aが四連覇(通算十回目の優勝)を、女子個人戦では、藤原果歩選手(福岡トヨペット)が初優勝を飾りました。この場をお借りして、本大会開催にあたりご後援、ご協力を賜りました関係者の方々、審判の労をとっていただいた諸先生方に深く感謝申し上げます。

そのほか、会員の主要大会での活躍としましては、令和七年三月の「全日本実業団女子剣道大会」において、ランテック、西日本シティ銀行、福岡トヨペットが出場し、ランテック本社が第三位入賞。九月の「全日本実業団剣道大会」では、西日本シティ銀行や九州電力を始め十七社が出場し、西日本シティ銀行(本店)が第三位、九州電力(本店)がベスト八(敢闘賞)の成績を収めました。また、四月に行われた「全日本都道府県対抗剣道優勝大会」においては、九州電力の西村龍太郎選手が福岡県の団体戦メンバーとして出場し、ベスト八入りを果たしました。

会員企業各社は、社業と剣道の両立を図りながら、各種大会での上位進出を目指して日々活動しております。これらの活動を通じて、産業人としての人格形成や、経済の発展に寄与し、さらに剣道の普及振興の一翼を担えるよう引き続き精進してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



〈団体戦〉

- 優勝 九州電力 A(4年連続 10回目)
- 準優勝 西日本シティ銀行 A
- 第3位 西日本シティ銀行 B クラフティア A
- ベスト8 パナソニックグループ
江藤酸素 B
三菱ふそうトラック・バス A
ALSOK A

〈女子個人戦〉

- 優勝 藤原 果歩(福岡トヨペット、初)
- 準優勝 樋口ほたる(ランテック)
- 第3位 有馬 樹里(福岡トヨペット)
- 第3位 小田 鈴珠(福岡トヨペット)
- ベスト8 安武 聖菜(福岡トヨタ自動車)
田江 遥香(ランテック)
池田 美希(福岡トヨタ自動車)
河村 さくら(ランテック)

第五十九回
九州実業団大会結果

医科学安全委員会 だより



医科学安全委員会
福重 哲志

がんについて

剣脈でがんについてのお話をするのに驚かれる方もおられると思います。剣脈を読まれる高段者の方はいわゆるがん年齢と言われる中高年の方が多いため、あえて今回の内容としました。

ご存じの通りがんはわが国の死因一位の病気で、一生のうち国民全体の二人に一人が発病し、男性の四人に一人、女性の六人に一人が亡くなると言う極めて身近にある病気です。

がんに対して「痛みのためには苦しんで死ぬ不治の病」というイメージを持っておられる人も多いと思います。がん患者さん全員が痛みを経験されるわけではなく、痛むのは七割程度の人

です。

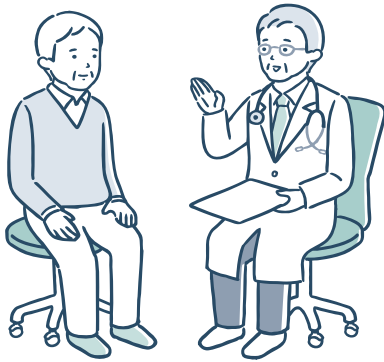
がんの診断を受け治療で治る人は半分くらいです。残りの半分の人たちは治療後にもがんが完全に無くならなかったり、一度消えたがんが再発したりします。そう言った方々にも治療は続けられますが、治療をしない方が穏やかに過ごせると判断される時期が来ます。その場合はがんによる辛さを和らげ人間らしく生きるための緩和ケアが主体となります。

がんと診断されると様々な辛さに直面します。体の辛さ、気持ちの辛さ、仕事が続けられるかなどの辛さ、お金の辛さ、家族の辛さなどです。大切なことはこれらの辛さを個人や家族だけで抱え込まないことです。がんの診断治療を行う病院には「がん相談支援センター」と言う部署がありますので様々な問題はそこに相談してください。もちろんまず最初には主治医に相談することです。

がんの治療を受ける場合にも主治医から自分が納得できる説明を受け、自分で決めて取り組むことが大切です。

普段からできるだけがんにならない生活をすることも必要です。食事、睡眠、適度な運動は言うまでもありません。がんの原因になることが明らかな喫煙や過度の飲酒をやめることも重要です。喫煙は自分だけでなく受動喫煙により、大切な家族のがんの原因にもなります。自分のためだけでなく家族のためにも禁煙は必要なのです。

がんの早期発見には検診も重要です。がんは早期に発見されると治る率が高まります。国は胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を推奨しています。定期的な検診も大切です。



隻腕少年記事



飯塚日新館中学
一年
山崎 つくし

剣道を通して

私は生まれつき右手がありません。兄と姉が剣道を習っていたので小さな時から道場について行っていました。五歳のときに道場で仲良くなった同じ年の男の子が剣道を始めたので私も剣道を始めることにしました。

初めは柄を短くして素振りをしていました。道場の先生や周りの人達にいろいろ教えてもらいました。私みたいな片手の人を教えるのは先生も初めてなので私のためにたくさん考えてくれました。先生が防具を一人で着ける方法を覚えてくれて一緒に練習しました。おかげで道着も袴も防具も自分でつ



けられるようになりました。

三年生の時、道場を卒業したお兄ちゃんが稽古に来てくれるようになりました。そのお兄ちゃんと新しい技を考えるのがとても楽しかったです。なかなか勝てなかったけど、毎朝素振りをして、道場で稽古をした

ら自然と勝てるようになってきました。そして、六年生の時には西日本選抜少年剣道大会で三位になり、さらに宮本武蔵旗では優勝することができたのはとても自信になりました。

なにかの大会で負けて面を外していると、他の道場の人達が私を囲んで「手どうしたと?」「痛い?」「試合見よったけどスゴかったね。」「僕も負けただけど、また頑張ろうね。」「次は勝とうね。」「みんなで励まし合ったのはうれしかったです。

今は中学生になって部活での仲間とも出会い、全国大会目指して頑張っています。

剣道をやっているから部活の仲間や道場の先生はじめ一緒に頑張っている仲間に出会えて、そして知らない人達からも時々応援の声かけをしても

らったりします。たくさんの人達とつながっていけることはとてもうれしいし、ありがたいです。逆に隻腕の選手に出会ったり、雑誌やSNSで見かけたりもして私も頑張る勇気をもらっています。

私もみんなと変わりなく同じように剣道も生活も何不自由なくできているのは私を特別に捉えずみんなと同じように接してくれている先生や友達のおかげだと思います。

剣道を通していろんな人達との出会いに感謝し、これからも頑張っていきたいと思えます。そして、私が頑張ることで周りのみんなも勇気と元気が出たらいいなと思います。



松大路 信潔

昭和50年生まれ、太宰府市出身。
太宰府天満宮勤務。
(現在竈門神社出向)
剣道四段。

活躍への道

学問の神様「天神さま」菅原道真公を御祭神と仰ぐ太宰府天満宮の参道は、毎日がお正月といわんばかりの参詣者である。全国津々浦々ならず諸外国の方々、また老若男女問わず太宰府を訪れ、右左と参道の軒先を眺め、心字池の太鼓橋を渡り、神の御前で手を合わせ祈りを込める姿は、今も昔も変わらぬ風景ではなからうか。父は天満宮の神職であり、地元太宰府小学校が稽古場である太宰府振武会の指導員ということもあり、私が剣の道に足を踏み入れたのも必然だろう。父と兄弟四名、稽古着に防具を背負い参道を降り太宰府小学校へ。今思えば夕方とはいえ参詣者のいる参道を稽古着姿で歩く姿はどのようなに映っていたのだろうか。振武会での稽古は厳しくもあったが様々な行事もあり先輩後輩にも恵まれ良き思い出である。年一回の宝満登山、年始のほんげんぎよ、スポーツ

少年団対抗のソフトボール大会や駅伝大会など、剣道を通じて様々な体験が剣士たちの人格形成に大きな役割があったと感じられる。現在は竹刀を置いた生活ではあるが、太宰府振武会で育てていただいたことに大いに感謝している。太宰府振武会は戦後、昭和二十四年に創立されたが、剣道が禁止されていた時代であり当初は「撓競技」の名称ではじまり、剣による青少年の育成は必須であると地元の愛好者が集り発足したそう。令和元年に創立七十周年を迎え記念剣道大会を開催すると共に、大同窓会も行われ、恩師の先生をはじめ幅広い年代の卒道場生が集り、創立の苦難に想いを馳せつつ、大いに交流を深め思い出話もつきぬ程であった。

釜の飯を食い、華やかな東京の学生生活とは真逆の生活ではあったが、二年三年と時間が経つにつれ、厳しい中にもやりがいと楽しさを見出し、この明治神宮での大学生活が今の私の根幹になったと感謝している。明治神宮は代々木の杜に鎮座し、境内は都心とは思えないほど広大で菖蒲園やお茶室、崇敬者会館や宝物殿、また武道場などが運営されている。武道場は「至誠館」といい、剣道、弓道、合気道を学ぶことができる。三年生の終わり頃、宿直勤務の都合もつけやすくなったこともあり、この至誠館で高校卒業以来竹刀を握った。八段七段の先生が数人おられ、その御一人は警視庁在職で私の高校の恩師の後輩という御方だった。他の先生や道場生とも懇意になり四段もこの時に取得できた。今でもこの至誠館にはとてもお世話になっている。太宰府振武会小学生は数年に一度は日本武道館で開催される全国大会に出場している。この時、明治神宮で正式参拝をし、至誠館で特別に稽古をさせていた

ている。剣を通じたご縁に誠に感謝である。

扱、私の奉仕する太宰府天満宮御祭神である菅原道真公は弓の腕前は百発百中ともいわれ文武両道の神様としても慕われている。昭和二十七年に菅公御神忌千五十年大祭を記念して天満宮で郡市対抗撓競技大会が開催され、昭和三十年代頃までは境内で少年剣道大会や柔道大会が行われていた。また、昭和五十二年には菅公御神忌一〇七五五年大祭を記念して剣道、柔道、空手など青少年の武道振興に更に力を入れるべく「天神旗少年剣道大会」等が始まり、現在に至るまで県内最大級の大会として開催され、武道を志す少年たちの大きな目標となっている。

私は昨年度より太宰府天満宮より竈門神社に向し日々の奉仕に勤しんでいる。竈門神社は宝満山山頂に上宮、麓に外宮からなる神社で、一三六〇年を越える歴史を有し古来より鬼門封じ、縁結びの信仰が深い。平成二十五年には宝満山は信仰のお山としては富士山・鳥

海山に次ぐ三番目の国の史跡として登録され、古来より霊峰宝満山と仰がれる祈りの山として多くの登拝者が何度も訪れている。「宝満に登らんと太宰府の人ではない」と言われるぐらい地元の暮らしとも密接で、太宰府の小中高の校歌には必ずと言っていいほど宝満山が歌われている。宝満山は江戸時代までは修験道山伏のお山であった。最盛期には三七〇の坊があったが、南北朝時代から戦国時代にかけての戦乱で荒廃し神事祭祀も日々廃れ、伝法修行も途絶えた。しかし、天正十五年（一五八七）豊臣秀吉は薩摩からの帰途太宰府に立ち寄り、宝満山に三層の高楼を建てた。戦乱に荒れ果てた宝満山の復興の第一歩である。その後、筑前国守小早川隆景、二代藩主黒田忠之が諸堂社の再建をなし、以後代々の藩主が時に応じて修復や寄進をされた。江戸時代は「宝満二十五坊」と呼ばれ、山伏として入峰修行や「水鏡秘宝」と言われる雨乞い、悪疫退散など様々な祈禱が行われ、安政六年（一八五九）

コレラが流行った時には、宝満山の神輿が福岡市内に下り、万町の浜で二夜三日祈禱し、市中を昇ぎまわり福岡城にも入って祈禱している。藩主の篤い信仰もあってか宝満山伏の験力は人々の渴仰するところだったのだろう。令和のコロナ過では、アニメ「鬼滅の刃」の影響もあり下宮の絵馬には主人公の「竈門炭治郎」や主要人物のイラストを描くと共にコロナ退散、社会の平穏をしたため、深い祈りが捧げられていた。竈門神社境内に金剛兵衛の墓と伝えられる鎌倉時代後期のものと推定される碑がある。金剛兵衛は文永の役の折り、蒙古襲来に備えて宝満山（金剛界宝満）を兵衛する願いで金剛兵衛盛高と名乗り、以後嫡流は代々盛高を名乗り、修験鍛冶（山伏鍛冶）として継承したと伝えられている。修験道と刀鍛冶は密接な関係があり、宝満山中には金剛兵衛が修行したといわれる小さな窟がある。



扱、宝満山と武術との関係は刀鍛冶だけにとどまらない。竈門神社社殿の左側には「神道夢想杖道発祥之地」の石碑があり、この横に「夢想権之助社」が鎮座している。この神社の祭神夢想権之助は「兵法天下一日本開山夢想権之助」と大書した幟を立てて全国を闊歩した豪傑として知られ、天真正伝香取神道流の奥義を究め、さらに鹿島心影流の「一の太刀」の極意を授かった武芸者。武者修行では負けなしで試合の相手を探し播州明石で宮本武蔵と出会い仕合うこととなる。四尺ばかりの太刀で打ちかかったが、手

も足も出ず、眉間を打たれて敗れしまった。以来、武蔵の二天一流十字留を破るべく諸国に修行を重ね、数年後には竈門神社に参籠した。満願の日、夢に二人の童子が現れ「丸木を以て水月を知れ」と告げられ「不滅の杖」の極意を授かったとも伝えられる。権之助は「宝満大菩薩の神勅を承けた」と感涙し、様々に工夫の末、檜の丸木を作り、槍、薙刀、太刀の三つの武術を総合した杖道をあみだした。この杖道神道夢想流で使う四尺二寸の丸木は、宝満山伏が入峰の際持つ檜杖と関係があるように感じる。宝満山中での参籠中、宝満山伏とも交流があり、修行場所や食糧の手助け、独自の武術で山を守った山伏の歴史や信仰への学びが奥義成就へと導いたのだろう。夢想権之助はその後黒田藩に召し抱えられ、杖道は藩外不出の御留の武術として伝承されている。昭和四十二年十月神道夢想杖道振興会の人々によって夢想権之助神社が建立された。この神道夢想権之助神社では、毎年正月新年祭を行った後に神

社前で稽古に励み直会を行う。私も神事を奉仕し、直会では楽しく交流をさせてもらっている。また毎月一度、神社前で破いを受けた後、開祖夢想権之助勝吉に技を奉納し修練を積まれている。

「剣は心に通ず」「剣はペンに通ず」など剣に関する表現は多々あるが、剣道はやはり読んで字の如く「剣は道に通ず」がしっくりくる。時折の生きるべき道、進むべき道に剣の心が導いてくれる気がする。幾度となく合わせた切先の数だけ縁が繋がりに、過去現在未来を結んでくれると信じ、またいつか道場に足を運びたいと思う。



角正式先生を偲んで

福岡教育大学
本多壮太郎

本年二月四日(水)、角正式先生が永眠されました。ここに謹んで先生のご遺徳を偲び、哀悼の意を表します。私自身、いまだ深い悲しみと喪失感の中におり、先生の不在を思うとき、言葉では尽くしがたい寂しさとともに、これまでどれほど多くの場面で先生に支えられてきたのかを、あらためて噛みしめております。

私にとって先生は、大学時代の恩師であると同時に、福岡教育大学保健体育講座の教職、そして剣道部の部長・監督という重責を受け継がせていただいた、まさに私の歩む道を示し続けてくださった存在でした。剣

の道を歩む者として、教育の道を志す者として、そして一人の人間として生きるうえでも、先生の存在は常に私の進むべき方向を照らし続けてくださいました。

先生のご指導は、単に剣道の技術を磨くことにとどまるものではなく、稽古を通して常に問われていたのは、「正しい剣道とはどうあるべきか」「人としてどう在るべきか」、そして「人を育てるとはどういうことか」という根源的な問いであったように思います。稽古場では凜と張り詰めた気迫の中に一切の妥協を許さぬ厳しさがあり、竹刀を構える先生のお姿そのものが「正しく在ること」の象徴でありました。しかし稽古を離れると、一人ひとりに目を向け、確かな言葉と態度で導いてくださる温かな教育者でもありました。その佇まいの中に、揺るぎない信念と深い慈しみが息づいていました。

◀ 角先生を囲んで



さいました。時に厳しい言葉をいただくこともありましたが、そのすべては学生の将来を思う真摯な願いに裏打ちされたものであり、後になつてその意味の深さを思い知ることばかりでした。

剣道部の指導においても、先生の軸は常に「人を育てる」ことにありました。勝敗に一喜一憂するのではなく、日々の稽古の積み重ねの中で人間としての土台を築くこと、仲間とともに歩むことの尊さを、先生は背中で示し続けてくださいました。先生が道場に立つと、背筋が伸び、竹刀を握る手に自然と責任が宿るような感覚を覚えたことを今も鮮明に思い出します。

とりわけ私にとって忘れ難いのは、イギリスに留学していた時期の先生との時間です。年に一度、現地で行われる講習会のために先生がイギリスを訪れ、稽古をつけてくださいました。異国の地で教育研究に携わ

る日々の中で、その講習会の時期が近づいたたびに、先生にお会いできることを、直接ご指導をいただけることを何よりの楽しみにしていました。限られた時間の中での稽古は一本一本に重みがありました。言葉数は多くなくとも、立ち合いの中に示される姿勢や間合い、そして一本の意味を通して、剣道の本質を問い直されているような感覚でした。また稽古の合間や講習の後には、剣道に限らず、日本の教育、教師としての在り方、海外に身を置いて学ぶことの意味について、静かに語りかけてくださいました。その一言一言が、異文化の中で模索していた私の支えとなり、進むべき道を確かに示してくれるものでした。

帰国後、私が先生の後を継ぐ形で大学に戻ることになった際、先生は「剣道教育者の育成に尽力しなさい」と静かにおっしゃいました。その言葉は今もなお、迷いや葛藤に直面したと

き、私を原点へと立ち返らせてくれます。先生が歩んでこられた教育者としての道、そして一人の人間としての在り方は、私にとって揺るぎない指標であり続けています。帰国後は、先生の海外講習に同行させていただく機会にも恵まれました。香港、イタリヤ、中国、シンガポール等、各地の講習会にお供し、微力ながらお手伝いをさせていたいただきました。各国の道場や稽古会で先生が竹刀を握られると、国や言語を超えて人々が先生のもとに集まり、その指導を心から受け止めようとする姿がありました。先生の一手一投足に対する尊敬のまなざし、稽古後に見せる満ち足りた表情、別れの際の名残惜しうな様子に触れるたび、先生が世界中の剣道家にいかにか愛され、敬われている存在であるかを実感いたしました。そうした場に身を置く中で、私は改めて先生へのあこがれと羨望の思いを強くいたしました。技量の

高さや指導力の卓越だけではなく、その人柄、立ち居振る舞い、そして教育者としての在り方そのものが、国境を越えて人々の心を動かしていたのだと感じています。剣道を通して人と人とを結び、人を育てるという先生の歩みが、世界各地で確かな形となつていることを目の当たりにし、先生のもので学ばせていただいたことの意味の大きさをあらためて思い知る機会でもありました。

もう直接先生からご指導を仰ぐことは叶いません。しかし、先生が私たちに残してくださいました教えと姿勢は、確かに多くの人の中に息づいています。稽古場での一声、何気ない助言、時に厳しい叱責の中に込められていた真心は、世代を越えて受け継がれていくことでしょう。先生から託された責務の重さを噛みしめながら、その歩みを少しでも継いでいくことこそが、私にできる最大の報恩であると感じています。

角先生、長きにわたりご指導いただき、本当にありがとうございます。先生とともに歩ませていただいた時間は、私の人生にとって何ものにも代えがたい宝です。いただいた教えを胸に、これからも教育剣道の道を歩み続けてまいります。どうか私たちの歩みを静かに見守っててください。

先生のご功績とご遺徳に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。





昇格・昇段

昇格

剣道「教士」(令和七年十一月二十日)

坂本 顕之	宮本 和之
御厨 倉生	武岡 美智
牟田 政司	城野 博彦
諸富 剛	光益 貴歩
大野 実	末次 輝
重松 一成	江崎 讓
山下慎二郎	平山 幸二
結城 一臣	小林 洋介
橋本 知之	大崎 勝也
南 信吾	松永 寛之
馬渡 勝宏	藤嶋晋太郎
加賀沢淳二	高原 和彦
築地浩一郎	川中 義彦
中野 敬三	伊藤 基修
湯口 博史	嵯峨山 聡
谷口 浩司	

剣道「錬士」(令和七年十一月二十日)

川内 義文	二牟禮弘樹
藤井 哲	内田 裕樹
橋詰 貴志	神笠 綾
白石 健一	波多江勇祐
高橋 雄一	竹井 雄士
岩永 吉信	小川 勝士
大塚 一徳	瀨上 裕太
長田 昌之	鶴田 康介
原 弘規	梶木 大樹
魚住真由美	中村誠二郎
小田 将義	柳 勇聖
北村 泰治	松田 研志
山本信一郎	岩中 悟
清島 隆太	松壽 圭亮
山口 高範	矢野 淳也
榑崎 永親	南島 伸哉
角 聡一郎	松本 孟通
野中 直美	磯野美佐緒
上野 大輔	藤原 翔太

居合道「教士」(令和七年十一月二十日)

松嶋 幸一

居合道「錬士」(令和七年十一月二十日)

高津 輝明 安本 誠一
 古賀 重治 高井 正敏

杖道「錬士」(令和七年十一月二十日)

村瀬 佳史 藤本 美紀

五段以上合格者

昇段

剣道「七段」(令和七年十一月八日)

杉山 大介	山部 茂
高橋 正治	平田 啓
滝野 園美	中野麻衣子
島田 由美	平井ミランダマ

剣道「七段」(令和七年十一月十四日)

福嶋 金治

剣道「七段」(令和八年三月一日)

上野 悟	高木 直哉
神崎 一也	宮原 芳樹
園田 和則	森村 俊次
庄村 育功	渡邊 俊浩
香月 武士	高野 和夫
北島 典道	新保 善三
水城 紘一	合原 時洋





森山三千雄 落合 朋
藤丸 一義 門田 高宏
中島 務 分山 大輔
小林 聡 森口 純平
峰松 嘉隆 太田 健心
中家 崇成 榎 敏之

松澤 謙一 福嶋 晃義
上原 誠司 眞崎謙一郎

本多 翔吾
〔六段〕(令和七年十月十五日)

〔六段〕(令和八年二月十五日)

大藤 早苗

甲斐伸太郎 本田 哲也
白石 康晃 主計 昌樹
白木 英基 五嶋 正美
河野 克則 菊武 龍二
中村 秀一 鳴山 勝幸

林内 隆二 坪井 悠
古賀 康智 木村 義秀
早崎 裕子 中村龍太郎
三宅 智子 永宮 悠貴
本村 太 川野 太郎
高野 喬 三井 克馬
橋詰 雅彦 塚原 一郎
玉城 守 泉 富葵
窪山 道人 山口 諒
安永 雄 植松 正己
伊藤 淳二 古賀裕次郎
勢田 征吾

〔五段〕(令和八年二月八日)

坂田航太郎 平野 晴大
吉良さくら 金子 祐士
田中 翔悟 佐藤 史治
山本 敬晃 池田虎ノ介
谷口 春菜 因幡 剛志
池田龍ノ介 高橋 和也
田城 徳光 土屋 之祐
西 伊万里 兒玉 航大
岡 恭一郎 町田健一郎

近藤 宗俊 杉山 克樹
米家 英雄 佐々木道廣
小島 尊文 田縁 朗子
福島 完治 児島 修一
内堀 貴之 清水 光史
田中 俊治

〔七段〕(令和七年十月三十日)

早野 豊明 高嶋 由紀

〔六段〕(令和七年十月三十日)

金子眞百美 藤吉 栄子

〔五段〕(令和七年九月七日)

佐藤 明彦 松岡 由記
久保 昭和

〔五段〕(令和七年十月九日)

上月 芳樹 安本 誠一
久保 昭和 辰本 強

編集後記

四年前広報委員長を任命しホームページの充実、競技人口減少防止、賛助会員の増加を剣脈に織り込むことを目標に立てました！各地域の決まった内容の投稿を辞め自由に内容の濃い記事を多くしました！玉竜旗も団体ではなく実際に抜いた生徒に投稿させ写真と一緒に載せものすごい反響です。

委員各位にもかなりの無理をお願いしました。令和八年度は新しい規定により交代しますが今迄以上に会員相互の交流が深まり連盟発展に寄与出来れば幸いです。

会員の皆様、広報委員の皆様ありがとうございます！又会員以外の方にも剣道連盟のホームページを覗いていただける事を祈念いたします！

(広報委員会：佐伯、金子、小田、鬼木、本多、石井)